

- 明けましておめでとうございます-----①
 研鑽を重ねての信頼度を高めよう
- 都民計量のひろば-----①
- 出前計量教室参加リポート-----②
- 総会の日程が決まりました-----②
- 平成18年度役員会報告-----②
- 会員の広場-----②
 会長賞・川柳・イロハかるた

明けましておめでとうございます 研鑽を重ねての信頼度を高めよう！ 会長 岩下貞治



新年明けましておめでとうございます。会員皆様のご協力で、昨年中に計画された諸事業が無事に終了することができましたことを厚くお礼申し上げます。

本年も2月に開催される年度総会后に19年度の研修会、見学会等が企画、実行される予定です。コンサルタント会員皆様の資質向上に役立つ諸行事で、研修会等に参加して研鑽を重ねることにより、コンサルティング業務の信頼度を高めることとなります。経験豊富な会員諸氏であっても、各メーカーの協力を得て行う研修会で、未扱いの製品に触れる機会があると思います。より多くの製品知識を習得することが、ユーザーに適正な計量器供給を行う上で必ずプラスになります。

リブラ前号で申し上げましたが、今年は研修会等へ多くの会員参加を重ねてお願いする次第です。毎年恒例の計量記念日行事と家庭用健康管理計量器精度確認事業への協力に加え、昨年より計量検定所及び東京計量士会が行っている小学校向け「出前計量教室」にも参加、協力を始めました。コンサルタントの社会的地位向上のため、会員各自が信念を持って計量思想の普及、計量の安全、適正な計量確保等の計量行政に協力しながら社会に貢献、寄与できるよう協会ともども努力することが必要であると考えます。計量は文化であるとも言われます。その文化を伝承は努力と学習によって維持されるものと思います。今後の計量のために計量人として、計量コンサルタントとして消費者利益確保に向けて協会会員に協力し、向上をはかりましょう。本年が皆様に良き年でありますよう、ご祈念申し上げます。

都民計量のひろば



計量記念日の11月1日、新宿駅西口イベントコーナーで「都民計量のひろば」が、東京都計量検定所と東京都くお良協会が中心となって開催されました。

東京都民に計量制度への理解を深めてもらうことが目的で、メインテーマを「くらしと計量」、サブテーマを「安全・安心 ささえる計量」とし、「計量と健康」「食品と計量」「環境と計量」「ガス・水道・電気と計量」「計量相談」の5つのコーナーが用意されました。

開会は10時30分。榎林 功氏(実行委員会副委員長)の司会で大原良房氏(同副委員長)の開会宣言があり、グリーンユニフォームを着用した60余名のメンバーはそれぞれのコーナーで活動に入りました。

会場の真ん中に陣取った「計量と健康」は東京都計量協会と東京都計量器コンサルタント協会が担当し、最も多くのお客さんを集めていました。中でも骨強度測定や体脂肪率測定に人気があり、順番待ちの行列ができるほどでした。「食品と計量」は東京科学機器協会が担当し、清涼飲料水など身近な飲食物を用意して糖度・塩分・温度などの計量をしていました。日本酒度計とアルコール度計の違いについて興味があるのか、質問している人も見られました。「環境と計量」は東京計量士会と東京都環境計量協会が担当し、環境に関するパネルやアスベストの計測機器を展示していました。アスベスト被害を出している青石綿を顕微鏡で拡大して見せているのが興味を引いていました。「ガス・水道・電気と計量」は東京ガス・東京都水道局・日本電気計器検定所がパネルを展示し、相談を受けていました。

計量検定所が担当した「計量感覚ゲーム」が好評でいつも人が並び、たまに出るピタリ賞の歓声は周囲を巻き込み、「ひろば」の雰囲気をついそう盛り上げていました。

この新宿駅西口イベントコーナーで「都民計量のひろば」をやるのは初めてで不安のスタートでしたが、絶えない人どおりのお陰で来場者が多く、担当者は忙しい中にも喜びを感じて動き回っていました。

閉会は4時。山川泰子氏(東京都計量検定所副所長)のねぎらいの言葉で終了となりました。



出前計量教室参加レポート

小学生を対象に計量について理解を深めてもらうために、東京都計量検定所と東京計量士会が合同で小学校向けの「出前計量教室」を行っています。要員の手薄になる際にはお手伝いすることになっていました。今回その機会があり12月7日(木)、目黒区立原町小学校で行われた出前計量教室に計コンからも参加しましたので、3氏に教室の様子や感じたことをレポートいただきました。

計コン3名(岩下会長、渡辺氏、山本氏)、計量士会5名、検定所5名の合計13名の参加です。小学校4年2クラス、5年2クラスを4・3・3・3名に別れて受け持つことになりました。4年生は寒暖計の製作、5年生は棒はかりの製作です。

4年生の寒暖計製作を報告します。

開始前に生徒に配るセット内容(寒暖計の板、0℃と30℃に黒線入りガラス管、感温部カバー、輪ゴム、接着剤塗用の竹串、製作用絵入り説明書)の材料を確認しました。

製作を始める前に池田計量士会会長より担当者の紹介、つづいて計量は社会、家庭生活に密着した大切な制度であることを計量の歴史をまじえながらの説明です。質問を交えて小学生に分かりやすい話し方で約40分、回数を重ねている経験からか?!子供をリラックスさせる話しぶりに感服させられました。製作は次のように進められました。

①寒暖計の板にある溝に竹串で接着剤を塗る。②ガラス管の黒線を板目盛りの0℃と30℃に合わせて貼り付ける。③固定のため輪ゴムを巻いて感温部カバーも貼る。

上手に出来る子供、多少まごつく子供もいたが、全員楽しそうな作業時間になりました。

用意された氷水入り容器(約0℃)に各自が入れて0℃目盛りに合うことを確認させ、続いて廊下に置いてある温槽(約40℃)へ再度、入れて目盛りの合うことを確認させました。終了後、自宅でいろいろな場所の温度を測ってみようとして出前計量教室は完了しました。

子供たちの元気なアリアトウゴザイマシタ声に送られて退室し、校長室でコーヒーをご馳走になり、お礼の言葉を受けて帰路について洗足駅で解散。計量士会の檜林さんの卒業した母校とのことで懐かしそうでした。(岩下貞治)

原町小学校で行われた「出前計量教室」の報告をします。近頃テレビ、新聞で過剰に報道されている「イジメ」もあり、「今の小学校」を見てみたいと考えて参加させて頂きました。

休み時間中に準備しましたが、そのときのうささには久しぶりに驚いてしまいました。でも、側を通るたびに「こんにちわ」と声を掛けてくれる小学生に感心しました。

「出前計量教室」が始まると、休み時間とは違ってきちんと説明者の話を聞き、質問に対していろいろな答えを出し合える姿を見て、「イジメ」って本当にあるのかな?とってしまいました。私たちの想像では「計量」という硬い言葉から発言がないだろうと思っていましたが、いろいろな見方、考え方から答えを引き出していることに驚きました。

「出前計量教室」が始まると、休み時間とは違ってきちんと説明者の話を聞き、質問に対していろいろな答えを出し合え

る姿を見て、「イジメ」って本当にあるのかな?とってしまいました。私たちの想像では「計量」という硬い言葉から発言がないだろうと思っていましたが、いろいろな見方、考え方から答えを引き出していることに驚きました。

実際に作る寒暖計においても、自分で作ったことに対する自負よりも、なかなか完成しない友達を気遣ったり、風邪のために休んでいた友達のために「休んでいる人の分はないの」と言ってくれた子供たちに「出前計量教室」の意義を考えるより、中学生を持つ親の一人として感激しました。(山本正之)



(写真は以前に行った出前計量教室のものです)

東横線洗足駅前総勢13名が集めて目黒区立原町小学校へ向かいましたが、あたたかも小学生の集団登校のようだなと思いつつ到着しました。

授業は3・4時限を使って1クラス28名前後の生徒を3人で担当するのですが、私は「棒なかり」製作の助手を務めることになりました。棒はかりの製作は、あらかじめ用意された材料(部品)を使います。

- 1) はかりの棒(長さ約25cm、太さ割箸くらい、作用点・支点に細い金具付き)
- 2) 乗せ皿(S字型フック付きプラスチック容器)
- 3) 重り(砂入りフィルムケース)
- 4) 取り緒

いっせいに作業を始めました。

- ① 支点に「取り緒」を結ぶ。
- ② 作用点に「乗せ皿」を吊るす。
- ③ 「棒」に「重り」を通し、支点に近いところでバランスを取って0gの目盛線を引く。
- ④ 作用点の「乗せ皿」に100g分銅を乗せて「重り」を「棒」の先端近くでバランスさせて100gの目盛線を引く。
- ⑤ 0g~100gに目盛線(2分の1が50g、5等分して10g、それを繰り返して)を引く。

作業の中では、0gと100gの目盛線を引くためのバランス取りが難しかったようで、苦労しながらも取り組んでいました。作業が終了すると早速、消しゴム、鉛筆、はさみ、ものさし等、それぞれ目方を量っていました。

作業の早い子供、なかなか進まない子供などいましたが、初めての体験に楽しそうに取り組んでいました。私も昔を思い出し、ほのぼのとした気持ちになることができました。みんなありがとう!機会があれば、温度計の製作にもかかわって見たいと思いつつ学校をあとにしました。(渡辺十六策)

平成18年度総会の日程が決まりました
とき 2月22日 集合3:00~
ところ 芝弥生会館(港区海岸)

会員の広場



◇都計協会会長表彰◇

当会理事の竹内芳和氏(株タニタ)が、計量記念日に東京都計量協会会長賞を受けられました。

おめでとうございます。

この度は、東京都計量協会会長表彰をいただきありがとうございました。

表彰当日は、出張と重なり出席できなく残念でした。今回の表彰を糧に、計量業界への更なる貢献をしていきたいと思います。

俳句・川柳
募集中

五・七・五で遊びませんか

5時からのちよい一杯が天国さ(酔い歌)
屋台酒飲めば部長もくそ食らえ(酔い歌)
体重はトイレの後に量るもの(ためし秤)
会社やめ今は掃除機おれの部下(OB)
定年後トイレの時間長くなり(OB)

平成計量管理
「イロハかるた」
by横須賀健治

ム)向かいあい話し合っの品質向上
ウ)上手いく、そこにひとつの落とし穴
イ)いつまでも人に頼るな自信もて
ノ)除く誤差、いつも正しい計量を
オ)俺だけと思うところに油断あり